

一般質問通告書（一問一答方式）

質 問 者

平成 29 年 6 月定例会

議席番号 4 番  
高橋 速円議員

1. 「みんなで考える町おこし委員会」について

平成元年に始まった「みんなで考える町おこし委員会」は、当町にとり、その時代に沿った問題提起をしたと評価している。しかし、今日的にみた時にまちづくりを担う若い世代への働きかけが不足していると受けとめている。第 5 次総合計画には、若干触れているようだが、具体的にはなっていないと考える。この際、再度「みんなで考える町おこし委員会」を立ち上げるべきだと考えるが、町長の認識を伺う。

一般質問通告書（一問一答方式）

質 問 者

平成 29 年 9 月定例会

議席番号 4 番  
高橋 速円議員

①良寛記念館について

平成 25 年 1 月より（財）良寛記念館は管理が町に移行し、町の財産になった。しかし、今日まで町からその内容について詳らかな情報はないようである。そこで以下質問と併せて提言をする。

- i （財）良寛記念館から移行時に財産目録の確認がなされたはずだが、今日まで示されていない。町民に早急に報告があってしかるべきではないか、町長に伺う。
- ii 先人の畏敬の念、熱い思い、そして出雲崎への信頼等々、多くの有形無形の財産が詰まった記念館が後世にしっかりと引き継がれる体制が今以上に必要と考える。そこで提言する。現在の教育課のもとにあるのではなく、直接町長の管理にすべきと進言する。町長の下にあることで後世に責任の所在が明確になる。これは石油記念館も同様だ。世に二つとない財産を次世代に託すことになると思うが、町長の所見を伺う。
- iii また良寛記念館の管理運営等が町に移行したことを機に記念館入口にある門、耐雪庵周辺を手直ししては如何か。設計当初のイメージは竹林を通してその奥に記念館が建っている、と聞いている。町長の所見を伺う。

②町長の予算執行について

町長は行政と議会は車の両輪とよく仰っているが、それを現実的にすべきだと考える。一般会計当初予算の 1%、三千万円を上限に議会に任せられないものか、と提案する。もちろん執行権は町長に存することは当然だ。これにより町全体に町政への論議が巻き起こり、議会も活性化し、町政全体に関心が注がれると思うが、町長の所見を伺う。

一般質問通告書（一問一答方式）

質 問 者

平成 29 年 12 月定例会

議席番号 4 番  
高橋 速円議員

1.町道及び赤すじの排水等維持管理について

町道及び赤すじの排水等、その維持管理は、その昔は田畑の貴重な水源を構成していた。しかし、高齢化や国の農業政策もあって、主要な町道等を除くと町全体がますます荒れてきたと言わざるをえない。町道や赤すじに関係する地権者も昨今の社会構造の変化や就業形態等の変化から、整備には積極的にはなれず、また手が回らず、地域環境はますます悪化の一途をたどっている。町では地域整備等については現在、地域協同作業報償金を実施しているが、その増額を提言するものである。町長の所見を伺う。